



# 三高同窓会 会報

## 会長ご挨拶



雲南会会長

福岡 國夫



今年は、昨年のような寒冷豪雪に見舞われる事もなく、この雲南地方も積雪もない穏やかな新年を迎えることが出来ました。

会員の皆様には益々ご健勝のことと存じ上げ、又各支部の活躍の程を伝聞いたしております。

全国的に少子化が進み、この島根県でも高校の再編対策に専門部会を設け本格的に対処するとの報道がなされております。納得のゆく就学の場を選択していただきたいものと思っております。

先日同期生会（高校二期生）



の資料の中に、在学中の年譜を発見したので抜粋して載せます。

昭和19年4月  
島根県立三刀屋中学校入学志願者164名、入学者116名

11月  
海潮村に勤労働員 農家に泊り込み農作業18日間

20年4月  
滑空訓練神西訓練場20名  
グライダー訓練（現出雲市）  
高窪炭鉱、阿用村に勤労働員

5月  
大和宍道工場、高窪炭鉱に勤労働員

6月  
古志（現出雲市）陣地構築に勤労働員

7月  
学校工場化進む

8月15日（1945）  
終戦 18日までは休校

9月  
墨塗り教科書使用

12月  
校長排斥運動おこる  
授業ポイコット

21年4月

旧教科書使用禁止  
粗悪な新聞用紙に印刷したパンフレット状の教科書が数度に分けて配布された。

23年4月

学制改革により島根県立三刀屋高等学校と改称

24年4月

男女共学制実施  
女子生徒13名転入学

25年3月

卒業式 二期生80名

食糧、衣類とも不足がちで配給制度の時代でしたが、中学・高校と六年間下駄を履いて通い続けました。

何不自由のない現今から、わずかに60年前の事が、おそろしくも、懐かしくも思い出されます。

今春高校を巣立たれる諸君には、高校時代を忘れることなく、己の道をしつかりと着実に歩んでいただきたいものと思っております。

## ご挨拶



校長 景山 寛

雲南会会員の皆様には、お健やかに丁亥の新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。私事になり恐縮ですが、私たちの世代は所謂団塊世代（昭和二十二年～二十四年生まれ）といわれる世代にあたります。戦後、復興する日本社会の中で少年時代をすごし、高度経済成長期には企業戦士としてひたすら仕事に打ち込み、バブル崩壊後の不況なども経験しながら、社会の大きい変化の中で今日の日本を築いてきました。今の日本社会をどう評価するか、良きに付け悪しきに付けその責任をしっかりと受け止めなければならぬと考えます。今まで私たちがこうして働いてこられたのも、先人の知恵や指導、あるいは地域の協力や支援があつてのことと、心から感謝する次第です。とりわけ学校教育に従事した私にとりましては、教育界の先輩の

ご指導が、そして本校勤務に  
おいては雲南会会員の皆様か  
らのご支援・ご激励がにおい  
に励みになったことは申すま  
でもありません。

三刀屋高校も開校以来八十  
二年が経過しました。総合学  
科に改編されて三年目になり、  
キャリア教育が充実され新し  
い学校として順調に成長して  
います。生徒たちはインター  
ンシップや研修旅行等様々な  
教育活動を通し職業観を養う  
とともにプレゼンテーション  
能力やコミュニケーション能  
力を高めています。フリーター  
やニートの問題が論議される  
ことの多い昨今、本校では、  
キャリア教育の意義を大いに  
感じながら全員で教育活動に  
あたっているところです。

さて、平成十八年度も、様々  
な学校行事を通して多数の同  
窓生の皆様にご協力をいただ  
きました。二人の方につい  
て紹介致します。秋も深まっ  
た十一月の講演会では、高校  
十八期生の大門芳行氏を講師  
にお願い致しました。氏は現  
在、日本女子体育大学教授で  
あり、日本バスケットボール  
協会副会長など重責を歴任さ  
れています。「人間形成と運  
動」という演題で講演頂きま

したが、「苦しさの中に私が  
いるのではなく、私の中に苦  
しさがある」というお話しや  
「自分が苦しい時は自分が成  
長している時」というお話に  
は、生徒が大いに関心を持つ  
たようです。本校バスケット  
部の黄金期の礎を築かれた先  
輩のお話に全校あげて感動い  
たしました。次に、岡山大学  
名誉教授でいらつしやいます  
大坪治氏(中二期)には、昨  
年十一月に平成元年既刊の

「擬声語の研究」を『大坪併  
治著作集』(全十二巻)に組み  
入れるために再版が完成し、  
本校に寄贈頂きました。余談  
になりますが、先生には一昨  
年の八十周年記念祝賀会に遠  
路よりのご出席を賜り乾杯の  
ご発声を頂きました。元気な  
お姿に触れ出席者一同大いなる  
力を頂きました。再版本の  
「満九十六歳の誕生日に記す」  
とするあとがきには「生来の  
素質を必要とするもの以外で  
は、その気になってやれば、  
大抵のことは出来るものでは  
ある。」と記されており、現在  
も益々ご健健で研究に没頭さ  
れていると聞いております。  
お二方の益々のご発展をお祈  
りします。

終わりになりますが、会員

の皆様は置かれましては益々  
ご健勝でご活躍いただきます  
よう祈念いたします。また、  
私たち教職員一同は三刀屋高  
校が益々発展するために最大  
の努力を払う所存ですので、  
今後とも変わリませずご支援  
賜りますようお願いいたしま  
す。

### 三刀屋高校 ホームページについて

昨年度より三刀屋高校ホ  
ムページがリニューアルいた  
しました。以前は外部へ依頼  
して更新する形をとっていま  
したので、なかなか最新の情  
報などを提供できませんでし  
た。昨年度からは、本校の教



員が更新することで最新の情  
報も提供できるようになった  
のではないかと思っております。  
本校のホームページでは、  
たくさんのイベントに関する  
最新記事や学校の案内、総合  
学科の特徴、進路状況、部活  
動の紹介などを掲載していま  
す。新着情報では今年度下記  
の記事を掲載いたしましたの  
で、またご覧になってくださ  
い。来年度も学校でのあらゆる  
活動を紹介したいと思つて  
おりますので、ご期待くださ  
い。また、三刀屋高校同窓生  
の皆様への案内記事などもご  
希望があれば掲載いたします  
ので、ご連絡いただくと喜び  
ます。

### 総合学科 完成年度を迎えて

総合学科企画部長  
竹田 茂

本年度は、三刀屋高校が総  
合学科に改編して3年、全学  
年が総合学科生となり、まさ  
に総合学科の完成年度でした。  
平成十一年から始まった総合  
学科の準備期間から数えて8  
年、この間、雲南会会員の皆  
様からも、多方面からご支援  
を賜りましたことをお礼申し  
上げます。  
さて、3年目を迎えた生徒  
の活動状況について報告しま  
す。



平成18年度 島根県総合学科発表会

3年生は本校総合学科  
の1期生として、常に前

進し挑戦し続けてきました。その中で、昨年度末より手がけたものが「課題研究」です。進路目標を達成するにあたり、それぞれがテーマを設定し研究するという取り組みです。例えば、海洋生物の研究を志す板垣君は「水生生物と環境のつながり」、栄養士を志す佐々木さんの「学校給食の役割」など、それぞれの進路に関係のある内容を課題として取り上げ、文献やインターネットなどから資料を収集し論文としてまとめました。この2つの研究は2月6日松江農林高校で行われた、島根県総合学科発表会で三刀屋高校代表として発表しました。



板垣君の発表

この課題研究の取り組みは、進路の志望動機をまとめる上

で役に立ち、さらに面接試験や推薦入試などで自己アピールをする際の話題とすることができました。3年生の最終的な進路状況は確定していませんが、普通科時代以上の成果を上げてくれることと思います。

2年生は、研修旅行で新たな取り組みがありました。それは「イブニングセミナー」と「ジョブシャドウ」、筑波宇宙センターの見学です。「イブニングセミナー」は

経済支援団体ジュニアアチーブメントの協力のもと講師にソニー株式会社 池田直樹氏を招いて行いました。「ジョブシャドウ」は「人がしている仕事を見るのではなく、仕事をしている人を見る」をコンセプトに社員が仕事をする姿を見ながら、職場の暖かさやチームワークを知るとい

体験です。受け入れ先の企業はNTTエレクトロニクス、日本女子体育大学スポーツセンター、巣鴨スポーツセンターなど雲南会の会員様のご紹介を得て実現した物です。理系に興味がある生徒は大学・専門学校訪問で、筑波大学や高層気象台、筑波宇宙センターを見学しました。

1年生は、インターンシップや大学模擬授業を受け、進路について考えるきっかけをつかみました。

このように、総合学科1期生の後を追いながら、着々と成長している総合学科ですが、学校以外の場での様々な体験をすることで成立するのが総合学科です。総合学科の発展のため今後とも、雲南会にご支援を賜りますようお願いいたします。

### 島根教育の日講演会

雲南会事務局長  
中村七朗

毎年十一月一日は「島根教育の日」。本校では、昨年から卒業生をお呼びして講演会を開催している。本年度は十一月三日、普通科十八期卒業生で、日本女子体育大学教授の大門芳行氏にお願いして、全校生徒、教職員、保護者に対してお話を頂いた。

### 【演題】 人間形成と運動

スポーツ運動を中心として

主題に入る前に「人間としてしっかりと生きていなければ、勝負には勝てない」ということを力説された。

- 一、スポーツ運動の「身体」について
- ・年齢の変化と運動能力、体力の発達との関係
- ・基礎代謝量と筋肉の発達
- ・筋肉の持つ特徴

等々を、資料を基にして話された。そして、若いうちに体力、運動能力をしっかりと鍛えておくようにと呼びかけられた。

二、スポーツ運動の「心」について

「ご自身の選手として、また指導者としての豊かな経験が裏打ちされた話であった。

「一位を目指すチャンピオンスポーツは必ず苦しさがついてくる。その時、苦しさの中に自分があるのではなく、自分の中に苦しさがあるのだ」

「人は苦しいと感じるときに進歩、進化している」

「一位以外は総て負ける。負けることの経験を大切にし、負けた後にどうするかを考えることが大切だ」

「相手に勝つだけでなく、自分に勝つこと。自己新記録とは自分にとっての新記録、つまり、自己に勝つこと、今までの自分の力を乗り越えることだ」

等々、聴衆をとっても魅了するお話であった。生徒達の心にも、しっかりと届いた講演であったということが次の感想にも表れている。

「とてもいい話だなあと感じました。主にスポーツのことについて話をされましたが、それだけでなく生活の様々なところで生かせる話だったと思います。「苦しい時こそ人は成長している」。「負けてからどうするかが本当に大事なこと」等、心に残った言葉がたくさんありました」

(二年男子)

「苦しい時は自分が成長しているのだと聞いた時、部活や勉強の面で今の自分と置き換えて考えることができました。今までは面倒くさかったりき

つい練習だどうしても楽な  
方へ行ってしまう、後で後悔  
することが多かったです。で  
も、この言葉を聞くと自分が  
成長しているんだと感じ、頑  
張れるような気がします”  
(二年男子)

“今日の講演で印象に残った  
ことは「人間としてしっかり  
していなかったら、スポーツ  
でも進化しない」という言葉  
です。このことをしっかり意  
識して部活に臨みたいと思  
いました” (二年女子)

“今回の講演は特に興味深く  
聞くことができました。話の  
中で、結果に対してなぜだ！  
と考えるだけでなく、次に何  
をしなければならぬかと前  
向きに考えることが大切だと  
わかりました” (三年男子)

“スポーツの話だからあまり  
関係ないかなと思ってしま  
したが、おもしろかったです。  
内容は、私が経験した吹奏楽  
部や日常にもあてはまるなあ  
と思つて聞いていました。今  
の受験にも繋がっていたし、  
逆境で苦しい時こそ成長して  
いるという言葉で元気づけら  
れました” (三年女子)

雲南会総会  
懇親会

報告

雲南会総会実行委員会  
二十七日代表

古 林 茂

平成十八年度雲南会総会及  
び懇親会は、多数の皆様のご  
臨席を賜り、平成十八年九月  
二十三日(土)に木次町チェ  
リヴァホールにおいて盛大に  
開催されました。

このたびの開催に際しまし  
ては、昨年度総会で委嘱を受  
けた私達二十七期卒業生(昭  
和四十九年度卒)が実行委員  
会を組織してお世話をさせて  
いただきました。至らなかつ

た点をお詫びいたしますと共  
に、ご多忙にもかかわらずご  
臨席いただきました皆様に厚  
くお礼を申し上げます。

昨年度は三刀屋高校創立八  
十周年を記念する節目の総会  
でした。そして今年度は、ま  
た更なる歴史の一步を踏み出  
す総会となりました。

午前十一時から開会した総  
会では、十八期・二十八期・  
三十八期の皆様から特別会費  
の贈呈を受け、議事では会務・  
会計報告及び予算、創立八十  
周年記念事業決算報告等が審  
議され承認されました。

総会に続き、三刀屋高校吹  
奏楽部の皆さんによる演奏と  
したすばらしい演奏が披露さ  
れました。

吹奏楽部の演奏をはじめ、  
総会で報告された各方面での  
三刀屋高校生の活躍を聞き、  
後輩たちの頼もしさを感じつ  
つ今後の益々の活躍を大いに



期待させられました。  
午後からの懇親会では、ど  
のテーブルでも積もる話にし  
花が咲き、和やかな雰囲気  
で進行しました。

懇親会のアトラクションで  
は雲南市役所若手職員四人組  
の「トロンボイジャー」を招  
き、トロンボーン四重奏を披  
露してもらいました。彼らは  
幼稚園や保育園を訪問し演奏  
を行うなどして音楽の楽しさ  
を多くの人に伝え、地域に溶  
け込みながら活躍しています。  
時の経つのも忘れて過ごし  
た一日でしたが、準備段階か  
らご尽力いただきました皆様  
に心から感謝を申し上げます。  
そして三刀屋高校と雲南会  
の益々の発展と会員の皆様の  
ご健勝をお祈り申し上げます。  
会の報告といたします。

卒業40周年の同窓会  
に出席して

井谷 憲治

昨年、私達普通科第18期生  
は、高校卒業40周年を迎える  
事となり、10年振りに益の8  
月15日に松江市の「サンラポー  
むらくも」におきまして同窓  
会を開催致しました。当日は、  
75名の出席で盛大に行なわれ  
ました。

受付場所では、懐かしい顔  
ばかり、10年振りの再会で、  
あちらこちらで笑顔笑顔で盛  
り上がっていました。中には、  
あまりにも学生時代とはかけ  
離れた姿に名前もわからず、  
名札で確認。それでもわから  
ないなどと再会を懐かしんで  
いる者。また中には、40年振  
りに出席し再会の喜びを噛み  
締めている人もいました。

会は、これまでに残念なが  
ら亡くなった恩師や友人達へ  
の黙祷で始まり、秦野真治会  
長の挨拶へと続きました。祝  
宴では我が同級生が誇ります  
大マジシャンの小林和彦君の  
マジックショーで大いに盛り  
上がりました。最後に終宴を

惜しみながら校歌を全員で合唱し、またの再会を約束し、最高に楽しい一日となりました。本年は、「丁亥（ひのとい）」の年で六十才の「還暦」を迎える者もいます。俗に「団塊の世代」と呼ばれ何かにつけて注目され期待されています。今年、新たな人生の目標に向かってスタートする年でもあります。私達18期生は、三刀屋高校並びに雲南会（同窓会）の今後のますますのご発展をお祈り申し上げます。

三 高 28 期 同 窓 会

錦 織 裕 子

日々の生活に追われていた我家に、同窓会の話が舞い込んできたのが5月。そうだ、私達は卒業して30年。あわててアルバムを用意し盆休みに同窓会をやるのではないか、という運びとなりました。何年ぶりに手にする卒業アルバムを片手に「三刀屋高校」を思いおこしてもらおう作業の開始です。案内状返戻の束を、ひとつひとつ片付けながら迎えた8月13日。猛暑の中、三刀屋町「まるや」にて、鏝木、

恩田、石原、木下先生にも出席して頂き、総勢67名で盛大に行いました。二次会、三次会からの参加もあり最終的には70名余りになったでしょう。それぞれ年相応の風体ではありましたが、あつという間にタイムスリップし、10年振り、30年振りの再会に話は尽きることなく、大いに盛り上がりました。ただここでも卒業アルバムは大活躍し、失礼ながら顔と名前が一致しない、最後まで納得のできない仲間がいたというのを付け加えます。明るく日には鉄人達による無謀なゴルフコンペもあつたよう。両日とも気分は30年前そのものでした。

次回の同窓会は10年後、なんと還暦直前です。お互い健康に留意し、元気に集おうと約束し散会しました。

卒 業 20 周 年 記 念 同 窓 会

に よ せ て

森 田 勉

私達第38期生も早や卒業20周年を迎えました。去る1月6日には4人の恩師の先生方と多数の同窓生の出席を頂き、盛大に開催することが出来ま

した。残念ながらご都合でご出席していただけなかった同窓生や先生からも心温まるメッセージを頂戴し、また雲南会への特別会費納入につきましても、同窓の皆様のご御理解と御協力を賜りましたことを、この場をお借りして合わせてお礼申し上げます。

さて、同窓会ですが、20年ぶりの再開でも、会話には花が咲き、笑い声がいつまでも続いておりました。始まる前までは、皆様に本当に楽しんでいただけたのか懸念しておりましたが、受付の時間になりましたが、一人また一人と仲間が集まり始め、それぞれが懐かしさと気恥ずかしさの中で、仲間同士や恩師の先生方と徐々に会話が盛り上がりつついく姿は、20年前の学生の姿そのままに思えました。

同じ時代を過ごした仲間の絆の深さは20年たった今も変わりなく続いており、これからも明日への活力となる信頼しあえる仲間であることを確信いたしました。また、次の機会に再会できることを楽しみにするとともに、母校の発展と、これからの同窓生の皆様の「健康」と「活躍」をお祈りいたします。



進路指導部長

勝部 秀子

(高校21期卒)

雲南会の皆様におかれましては、ますますご清祥でご活躍のこととお慶び申しあげます。平素は本校の教育に対しまして、格別のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

特に、平成十六年に総合学科に改編されて以来、「産業界と人間」「総合学習」というカリキュラム（以下キャリア教育という）の中で行います職業人講演会やインターシップにおきましては、近隣地域の同窓生の方に、また研修旅行におきましては、東京在住の同窓生の方に、大学や専門学校訪問、企業研修のために場所の提供を始め数々のご尽力をいただきましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今年度は、その総合学科の一期生が卒業する年となりました。お陰様で本校生徒は、日々勉学や部活動に熱心に取

り組んでおり、学力面でも成果を上げています。初めに昨年度（十七年度）の進路状況について述べます。普通科最後のこの学年も一期上の学年と同様、入学時の成績は芳しくありませんでした。学年部を中心としてまず英語の基礎力の向上を目指しました。・予習の仕方の指導・辞書による単語の意味調べの意義と方法の指導・学年全体による小テストの実施・家庭学習時間の確保等の励行でした。このような努力が数学にも徐々に実を結び始め、最終的な合格状況は、ここ3カ年で言えば最も良い成果をあげました。31名の就職希望者も、厳しい就職状況の中、皆が内定をもらうことができました。運動部の活躍にも勢いが出てきた生徒達は、最後まで集中力を高め粘り強く目標に向かって邁進した、その結果だと受け止めています。

次に、今年度についてですが、表には二月中旬までの状況をまとめています。総合学科の一期生ですが、総合学科の大きな特徴の一つに「キャリア教育の充実」があります。キャリア教育というのは、端的に言えば生徒一

人ひとりの職業観・勤労観を育てるための教育ということになります。一年次には、近隣の職業人の方を呼んで、社会人に必要な資質や勤労観の講演をして頂いたり、三日間の職業体験学習を実施し、社会で必要な礼儀・作法、マナーは当然として、働く意義や厳しさ、そして人との関わりの大切さなどを学んできました。そしてライフプランで自分の職業を通して将来像を思い描く作業を行いました。三年次では、「課題研究」を行い、多くの生徒が自分の進路に直結する領域の研究を行いました。この一連のキャリア教育を通して「なぜ自分は勉強するのか」という動機づけをし、モチベーションを向上させることが、結果的に生徒の学習意欲につながり、進路実現へ向けて「自ら考え、行動し、切り開く力」を育てる上で大きな原動力となりました。既に、このキャリア教育の成果を受験に最大限に生かして、推薦入試において順調に合格を決めています。一般入試はこれからになります。昨年以上に勢いを持つ学年です。大いに期待をしているところです。

今後卒業生の方々に、後輩のためにより一層のご高配

をいただきますようお願い申し上げます。

平成17年度合格者数

延べ数

平成18年4月8日現在  
( ) 過年度卒業生の数：うち数

	国公立大		私立大		国公立短大		私立短大		看護学	医療社	福専	各専	種門	補習科その他		就職		公務員		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女						男	女	男	女	男	女	男	女	男
合格者	28	20	52	25		17		22		4	8	8	18	14	7	1	18	11	2	1	133	123
延べ数	(1)	(2)	(2)	(3)																	(3)	(5)
計	48(3)		77(5)		17		22		4		16		32		8		29		3		256(8)	

平成18年度合格者数

延べ数

平成19年2月13日現在

	国公立大		私立大		国公立短大		私立短大		看護学	医療社	福専	各専	種門	補習科その他		就職		公務員		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女						男	女	男	女	男	女	男	女	男
合格者	7	9	10	14	1	5		10	2	3	8	10	10	15			4	6	5		47	72
延べ数																						
計	16		24		6		10		5		18		25				10		5		119	



演劇部

昨年夏京都で開催された「全国高等学校総合文化祭」において、本校演劇部が県勢初の『国立劇場で公演』という快挙をなしとげました。左記はその京都大会を取材された高文連広報です。  
(八幡市文化センター／八幡市)

『中国地区代表として、県勢3年ぶりの出場を果たした県立三刀屋高等学校は審査員特別賞を獲得し、上位入賞校による「優秀校東京公演」への出場を決めた。県勢初の快挙である。

月記「サンゲツキ」は京都大会での上演当日、全国からの千人を越える来場者を笑いと感動で包み、先生役の八木良憲さんも「これまでで一番の出来。」と笑顔で振り返る快心の舞台となった。

続いて、先生役を熱演した八木良憲君に、「京都大会」と「優秀校東京公演」をふりかえってもらいました。

『昨年の京都総文祭での表彰式で東京公演が決まった瞬間、僕はどうしてよいか分からなかった。二度目の奇跡が起きたのだ。全国でたった四校しか出場できない東京公演。どう考えても他校の演技の方がうまい。

昨年秋、部員8名で地区大会に出場してから1年。卒業シーズンを舞台にした「三番直前のダメ出しではうまくいくはずがない。そしてそのまま舞台へ。全国という緊張から喉がすぐにカラカラになる。とにかく必死だった。そして僕の高校最後の舞台である東京公演。支えて下さった方々のため、また最後の舞台としてもっと面白い芝居をとりたいと思うが、頼りない部長ではあったが、今度こそ部長としての大仕事となった。とにかくスケールの大きさに驚く。国立劇場で公演できる

ことはとても光栄だが、ミスは許されない。おまけに全国放送されるのだ。ただ、今までの苦勞を思えば楽なものだった。様々な人の協力があり、僕は演劇を楽しむことができた。また演劇部に誘って下さった顧問の先生に感謝したい。八月には島根で全国大会がある。もともと面白い芝居を願っている。後輩達よ頑張れ！」

演劇部門の公演に限ってはNHK衛星放送で「青春舞台2006」と題して録画中継が行われましたので、ご覧になられた方もあるかもしれません。当日は本校でも視聴覚室へ教員・生徒の有志―八木君のクラスは全員―が集まり声援を送りました。又応援のFAXを送ったり、ホームページへメールを送ったりもして盛りあげました。

さて、この演劇部は本年八月に開催される全国高総文祭松江大会への出場が決定しています。昨年に引き続きこの活躍を期待しましょう。

## 部活動トピックス

### 吹奏楽部

たかが一点、されど一点

「もし部員が七十名を越えたらコンクールはAの部とBの部の両方に出場する」と宣言していた通り、七十三人でA・B両部門に出場した今年の大大会。結果はAチームが中国大会次点の五位金賞、Bチームも三位金賞を受賞した。僅か一点差で進めなかった中国大会。後輩たちもその悔しさと一点の大きさを忘れることなく、今年こそはと燃えている。

総文祭島根大会出場とともに、今年の夏も熱い音楽を届けたい。

(顧問 太田 知伸)

### 柔道部

今年は、六月の中国大会に男子団体(島根三位)と個人(六十kg級一名、六十六kg級三名、九十kg級一名)が出場し、七月の中国ジュニア体重別大会には九十kg級と六十六kg級に一名ずつが出場した。八月の全国総体には三高柔道部としては初めて男子個人九十kg級に藤原佑祐が出場した。十一月の中国新人大大会は、男

### 剣道部

挑戦し続けた三年間

今年の卒業生は、全国高校総体島根大会の開催年に入学してきた生徒たちです。全国総体の役員をしながら、来年は我々が、全国の舞台で戦いたいと心に火がついたことを思い出します。その後の練習は、自分を追い込み限界に近い練習、時に限界を超えた練習になりました。遠征形態も全国をにらみ移動し、年間二百試合を超えました。その結果、県大会では男子団体戦三位、準優勝。個人戦は、優勝、準優勝、三位入賞という結果をだしました。しかし、全国大会出場は叶わず、悔しい思いをしたことは事実です。

今後卒業生には、一生懸命に取り組んだ部活動での経験を活かし、人生の勝利者を目指すことを願います。在校生には、先輩の築いた伝統を守りつつ、次の目標に向かって頑張ることを期待します。

(顧問 小松正道)

### 陸上競技部

次は高校総体で

中国・全国へ  
新人戦では三千m障害と、八百mで優勝し、千五百m、円盤投、やり投げでも八位入賞を果たしました。特に八百mでは準決勝三レースを全て一位で通過し、決勝でも上位を占めました。

新人戦では三名の選手が中国大会に出場しました。駅伝でも二年連続入賞し、中国大会に出場しました。一つ上のラウンドを経験すると選手は見違えるほど成長します。次は総体で中国、全国を狙います。リレールも期待したいです。応援よろしくお願います。

(顧問 長野 博)

### 女子ソフトテニス部

どこまでやれるか?!

十月の県新人戦で団体戦三位に入賞した。個人戦がすべて三回戦までで敗退した悪い雰囲気吹き飛ばすかの様な勢いでシード校の浜田を圧倒した。決めたことをきっちりやり切ることができた選手達に今後の可能性を実感した。選抜中国大会出場をかけたリーグ戦でも健闘し、この冬

### 男子ソフトボール部

今度こそ

全国大会で優勝を  
平成十三年より全国高校総体は六年連続、全国選抜大会は四年連続出場となります。秋の中国大会では決勝で一点差で惜敗しました。中国04総体以降も着実に力をつけていますが全国では僅差での敗退が続いています。ここ数年、全国の強豪とも毎年のように練習試合をしチームの力をつけています。相手の力を出さず自分達のリズムの試合運びで五年ぶりの全国大会勝利を目指します。120%の力を出すよう頑張ります。応援よろしくお願います。

(顧問 永瀬良文)

## 部活動報告

### 【体育部】

●陸上部  
第61回宍道湖一周駅伝競走大会  
松江商業高校と合同チームで参加

23位(全62チーム)  
第60回出雲陸上競技大会

男子1500M決勝

新 和人 3位

渡部 裕太 7位

男子5000M決勝

別木 政彦 9位

新 和人 3位

内田 雅也 24位

第89回全山陰陸上競技大会

男子5000M決勝

別木 政彦 8位

男子3000M障害決勝

別木 政彦 13位

内田 雅也 14位

女子100M決勝

岡田真那実 5位

第60回島根陸上競技選手権大会

男子1500M決勝

渡部 裕太 11位

男子Jr3000M決勝

稲田 太一 13位

男子やり投げ決勝

高野 聖也

男子Jr円盤投げ決勝

高野 聖也

女子100M決勝

岡田真那実 7位

女子200M準決勝

岡田真那実 4位

第44回島根県高校総体

男子800M決勝

新 和人 7位

渡部 裕太 8位

男子1500M決勝

新 和人 7位

渡部 裕太 14位

男子3000M障害決勝

別木 政彦 14位

女子100M決勝

岡田真那実 4位

女子200M決勝

岡田真那実 4位

男子(決勝ベスト8以上)

800m 別木政彦\*3位

新 和人\*4位

渡部裕太\*6位

新 和人\*5位

渡部裕太\*8位

円盤投 高野聖也\*1位

女子(決勝ベスト8以上)

100mH 稲田あゆみ\*4位

県高校新人

男子(ベスト8以上)

800m 新 和人\*1位

渡部裕太\*3位

別木政彦\*5位

新 和人\*6位

渡部裕太\*8位

3000m障害

別木政彦\*1位

円盤投 高野聖也\*7位

やり投 高野聖也\*8位

女子(決勝ベスト8以上)

100mH 稲田あゆみ\*4位

中国高校新人

800m予選 新 和人

渡部裕太

3000m障害決勝

別木政彦

●県高校駅伝

男子総合\*6位

中国高校駅伝

男子総合\*31位

●野球部

春季野球大会中部地区予選

1回戦三刀屋9-4出雲工業

2回戦三刀屋2-3大社

出雲地区野球大会

1回戦 三刀屋2-3大東

●全国高等学校野球選手権島根大会

2回戦三刀屋8-0益田工業

3回戦三刀屋1-5開星

●秋季野球大会一次予選

1回戦三刀屋2-6松江北

出雲地区一年生大会

2回戦三刀屋1-3大東

●男子ソフトテニス部

●県総体地区予選

●個人戦

5ペアが県総体出場権獲得

●団体戦

1回戦三刀屋1-2出雲北陵

●県総体

●個人戦

3ペア2回戦敗退

2ペア1回戦敗退

●団体戦

1回戦三刀屋1-2隠岐

団体選手権大会

Aチーム

へ2位以下トーナメント

三刀屋A3-0横田A

三刀屋A0-1松江北A

Bチーム

へ2位以下トーナメント

三刀屋B0-2隠岐B

Cチーム

へ2位以下トーナメント

三刀屋C0-2出雲商C

Dチーム

へ2位以下トーナメント

三刀屋D0-2津和野B

●県新人戦大会東部地区大会

●団体戦

2回戦三刀屋0-3松江東

●個人戦

1ペア4回戦敗退\*ベスト32

1ペア3回戦敗退

2ペア2回戦敗退

敗者復活戦勝ち上がり

6ペア2回戦敗退

1ペア1回戦敗退

●県新人戦大会

●団体戦

1回戦三刀屋1-2出雲

●個人戦

1ペア1回戦敗退

5ペア2回戦敗退

●女子ソフトテニス部

●県総体地区予選

●個人戦

2ペアベスト32

1ペアベスト64

9組が県総体出場権獲得

●団体戦(第6位)

●県総体

3ペア3回戦敗退

3ペア2回戦敗退

3ペア1回戦敗退

▼団体戦

1回戦敗退

●国体予選

1次予選ブロック\*3位

友塚・三反田組

●県高校国体選手権大会

2位以下トーナメント\*3位

三刀屋高校

●新人戦地区予選

団体\*5位三刀屋高校

個人\*ベスト16

●県高校新人戦

団体\*3位三刀屋高校

個人\*7ペア3回戦までで敗退

●全国高校選抜県最終予選

リーグ戦\*第3位三刀屋高校

●西日本高等学校選抜ソフト

テニス室内選手権大会

予選リーグ0勝2敗

3位以下トーナメント1回戦敗退

●男子バスケット部

●中国予選

3回戦敗退

●県総体

3回戦敗退

●県選手権

2回戦敗退

●出雲地区新人戦

1回戦敗退

●県新人戦

1回戦敗退

●女子バスケット部

2回戦敗退

●中国予選

2回戦敗退

●県総体

2回戦敗退

●県選手権

1回戦敗退

●出雲地区新人戦

1回戦敗退

●県新人戦

2回戦敗退



●男子ソフトボール部

・全国選抜大会

1回戦三刀屋5―8土浦日大(茨城)

・中国大会県予選(優勝)

決勝三刀屋9―0浜田

・中国大会(第3位)

・県総体(優勝)

決勝三刀屋5―1浜田(全国総体出場)

・全国総体 2回戦敗退

・国体中国ブロック大会

1回戦岡山選抜に敗れる

・県選手権\*優勝

・県新人戦\*優勝

※全国選抜大会出場

・中国新人大会2位決定戦で敗れる

●女子ソフトボール部

・全国選抜大会 2回戦敗退

・中国大会県予選

決勝三刀屋2―3大東

・中国大会 2回戦敗退

・県総体

決勝三刀屋2―4大東

・県選手権

決勝三刀屋3―5大東\*

・県新人戦

準決勝三刀屋3―11出雲商

・男子バレー部

・中国大会県予選

予選リーグ1勝1敗

・県総体2回戦敗退

・松江地区高等学校バレーボール大会

予選グループ戦 3敗

決勝グループ戦 1勝2敗

・島根県高等学校新人バレーボール大会

一回戦三刀屋0―2松江商

敗者復活戦三刀屋0―2出雲

・島根県高等学校バレーボール選手権大会

予選グループ戦1勝1敗

・女子バレー部

・中国大会県予選

予選リーグ敗退

・県総体 1回戦敗退

・島根県高等学校バレーボール選手権大会

予選グループ戦敗退

・新人戦

予選グループ戦敗退

・卓球部

・男子団体 2回戦敗退

・男子シングルス

星野3回戦敗退、他は1、2回戦敗退

・県総体

・男子団体 1回戦敗退

・男子ダブルス 大島・小林組(ベスト32) 他は1、2回戦敗退

・県高校新人大会

・男子団体2回戦敗退

・男子シングルス

吉野3回戦敗退 他は1、2回戦敗退

・県選手権大会

・男子団体2回戦敗退

・シングルス・ダブルスは1、2回戦敗退

●剣道部

・第8回中国新人剣道大会

男子個人 渡部ベスト16

・第27回大阿蘇旗高校剣道練成大会に参加

・中国大会県予選

男子団体(準優勝)

女子団体戦(ベスト8)

・個人戦

加本有紀ベスト16

山本悠太郎・松崎弘恵

ベスト32(男子団体と個人3名 中国大会出場)

・県総体

男子団体3回戦敗退

女子団体(ベスト8)

個人戦4名ベスト32

・中国高校剣道大会

男子団体戦予選リーグ2位

出雲部剣道大会

女子団体戦\*優勝

国民体育大会(剣道競技少年の部) 島根大会

・県高校体育連盟主催の四大会と四回の選考大会(リーグ戦)の結果

山根浩平 総合第6位

・玉童旗高校剣道大会

1回戦敗退

・第16回白狼全国高校剣道練成大会参加

・第39回島根県武道振興大会

高校2・3年生の部

稲田慎也 4位

・第7回広島国体記念全国高校選抜剣道練成大会参加

・県高校剣道選手権

男子団体戦 1回戦敗退

女子団体戦 ベスト8

個人戦奥田美穂\*ベスト16

松崎弘恵\*ベスト32

・三次義士祭奉納剣道大会

男女共団体予選リーグで2回戦敗退

・島根県高校剣道新人戦

男子団体戦2回戦敗退

女子団体戦ベスト8

個人戦藤原充頭\*ベスト16

・全国高校剣道交歓大会

びわこ杯全国高校剣道大会参加

びわこ杯全国高校剣道大会

1回戦敗退

・新春高等学校剣道山口練成大会

・島根県高校生剣道三段統一審査

稲田慎也 合格(合格率50%)

・雲南市剣道大会

一般・高校男子個人戦の部

稲田慎也 \*優勝

●柔道部

・中国予選

男子団体戦(3位)

3位決定戦

三刀屋②―2平田(内容)

(中国大会出場)

男子個人戦

90kg級 優勝 藤原侑祐(中国大会出場)

5位 犬山佑太

66kg級 優勝 中澤聡也(中国大会出場)

2位 藤井健一(中国大会出場)

3位 入澤 光(中国大会出場)

60kg級 3位 金森翔士(中国大会出場)

・県ジュニア体重別選手権大会

90kg級 優勝 藤原侑祐(中国ジュニア大会出場)

66kg級 優勝 難波辰哉(中国ジュニア大会出場)

・県総体

男子団体(3位)

女子団体予選リーグ1敗1分

男子個人

90kg級 優勝 藤原侑祐(インターハイ出場)

※男子総合2位

・第53回中国高校柔道大会

男子団体 予選リーグ※1勝2敗

・国体県予選

90kg級 藤原侑祐\*優勝

73kg級 中澤聡也\*3位

・第38回全日本ジュニア柔道

体重別選手権中国地区予選

男子 66kg級1回戦敗退

男子 90kg級藤原侑祐※第3

位

・第55回全国高校柔道大会

男子個人 90kg級藤原侑祐2

回戦敗退

・ 県高校新人柔道大会  
男子団体※5位(中国新人大  
会出場)

女子団体 予選リーグ敗退男  
子個人

100kg級 石飛修平\*3位  
66kg級 中澤聡也\*優勝

60kg級 横木 蓮\*3位  
60kg級 須山雅之\*3位

63kg級 藤原亜沙巳\*3位  
48kg級 東久保千明\*3位

男子団体 予選リーグ  
※2勝1敗

・ 県高校柔道選手権大会  
男子団体 \*3位

女子団体 1回戦敗退  
男子個人(無差別級)

加藤 優作\*ベスト8  
女子個人(無差別級)

藤原亜沙巳\*3位  
サッカー部

・ 中国選手権出雲地区予選  
・ 予選リーググループ2位  
第4代表決定戦

三刀屋0-2出雲商  
三刀屋2-3江津工(延長)

・ 県総体1回戦  
・ 島根県高校サッカー選手権  
大会

出雲地区予選予選リーグ敗退  
・ 島根県高校サッカー新人大  
会 1回戦敗退

・ スキー部  
・ 第56回全国高等学校スキー

大会島根県予選  
兼第48回中国高等学校スキー  
選手権大会島根県予選

回転 小林優太(1の4)  
\*2位

大回転 小林優太\*1位  
第62回国民体育大会スキー

競技島根県予選  
大回転 小林優太\*1位

・ 第56回全国高等学校スキー  
大会  
回転 65位  
大回転 99位

【文化部】

写真部

・ 第34回島根県高校写真展  
3年の部 5席タイトル  
「畑で」3の2藤原真緑

入選3の1速水麻衣・小川  
梨恵

1の3 青戸香織  
JRC部

・ 平成18年度島根県高等学校  
青少年赤十字春季協議会

・ 平成18年度全国高校総合文  
化祭JRC部門プレ大会兼  
リーダーシップ・トレーニ  
ングセンターに参加

・ 学園祭・ひとり暮らしの高  
齢者を招待・展示とバザー

・ 平成18年度島根県高校JRC  
メンバー秋季協議会  
・ 平成18年度 出雲地区プロッ  
ク会

・ 梅里苑・児童館訪問  
・ 「散歩道」の作品と配布

・ 書道部  
・ 平成18年度校文連書道コン  
クール

2年 大田佳代 特選  
2年 小林麻里 特選

・ 第39回島根県高等学校書道  
展  
奨励賞 2の4 大田佳代  
(全国大会推薦)

入選 3の1 福馬 瞳  
3の2 若林智子  
3の5 谷山未樹

・ 自然科学部  
・ 文化祭

・ 文化祭  
花火(手作り)・綿火薬  
炎色反応とは?  
イチゴシロップ指示薬  
(アントシアニン)実験

・ 美術部  
・ 平成18年度高文連出雲地区  
絵画コンクール  
14名 入選

・ 第39回島根県高校美術展  
本稿より17名  
39点出品のうち17名  
34点が入選

・ 出雲地区彫刻講習会及びコ  
ンクール  
島根県立青少年の家サン・  
レイク

「サン・レイクアートプロ  
ジェクト・アワード」\*3位  
吹奏楽部

出雲地区吹奏楽祭 出場  
・ 第47回全日本吹奏楽コンク  
ル島根県大会

高等学校Aの部 金賞(中  
国大会次点)  
高等学校Bの部 金賞

・ 第30回全日本アンサンブル  
コンテスト 島根県大会  
Aの部

打楽器六重奏\*金賞  
金管八重奏\*銀賞  
サクソフォン五重奏\*銀賞

Bの部  
フルート三重奏\*金賞  
クラリネット八重奏\*金賞  
(第1位)

管弦七重奏\*金賞  
金管八重奏\*金賞  
管弦三重奏\*銀賞

音楽関係  
・ 第45回島根県高等学校音楽  
コンクール  
声楽

木管楽器  
金管楽器  
ピアノの四部門で金賞

・ 第5回高文連日本音楽部門  
コンクール出場

・ 岡山県高校演劇フェスティ  
バル(招待公演)  
・ 全国総合文化祭・全国高等  
学校演劇発表大会

「三月記」サンゲツキ  
審査員特別賞(5位相当)  
国立劇場優秀校東京講演  
「三月記」サンゲツキ

・ 出雲地区演劇発表会  
9月 雲南市・ラメール

「笑い女」\*優秀賞(県大会  
へ)

・ 島根県演劇発表大会  
10月 松江市・県民会館  
「笑い女」\*最優秀賞(中国  
大会へ)

・ 中国地区演劇発表大会  
11月 松江市・県民会館  
「笑い女」\*優秀賞

・ 全国高等学校演劇協議会会  
長賞(2位)  
平成19年度全国高等学校演  
劇発表会の出場校として推  
薦される

・ 出雲地区高等学校演劇  
部合同公演  
9年3月 出雲市・ビッグ  
ハート「ぼっくりさん」  
夏の約束」上演予定

放送部  
・ 第42回島根県高等学校  
放送コンテスト 東部地区  
大会

・ アナウンス部門 江角祥子  
6位(県大会出場)

・ 第42回島根県高等学校放送  
コンテスト  
準決勝 江角祥子 14位

・ 第10回島根県高等学校  
総合文化祭放送部門東部地  
区大会  
入賞 江角祥子 8位

・ 第10回島根県高等学校  
総合文化祭放送部門県大会  
アナウンス部門 江角祥子  
14位

# 歓迎

新入会員の皆さん、支部先輩を是非お訪ね下さい。お待ちしております。

- ◎東京支部 幹事長 天沼 勝(昭50卒)
- 埼玉県行田市須加四四〇 (048155712415)
- ◎名古屋支部 幹事長 大田和麻生(昭43卒)
- 名古屋北区駒止町二二二 (052191419792)
- ◎大阪支部 幹事長 奥田鉄雄(昭31卒)
- 大阪市東淀川区菅原七二二三 (061632219391)
- ◎広島支部 幹事長 太田憲二(昭55卒)
- 広島市西区中広町三一五一 (0822920323)
- ◎鳥取支部 幹事長 松原 憲(昭35卒)
- 米子市上福原五八一・六 (0859339465)
- ◎松江支部 幹事長 広野 正充(昭46卒)
- 松江市西川津町三二八〇・七 (0852310667)
- ◎出雲支部 幹事長 落合 久啓(昭37卒)
- 出雲市大津朝倉二・一一・八 (0853226819)

- ◎石見支部 幹事長 島田 昭次(昭30卒)
- 浜田市黒川町三七四〇・一二 (0855234669)
- ◎大東支部 幹事長 鳥屋 敬(昭24卒)
- 雲南市大東町山田一一〇三 (0854435016)
- ◎加茂支部 幹事長 榎原 俊(昭19卒)
- 雲南市加茂町加茂中二九一・三 (0854496503)
- ◎木次支部 幹事長 板持 達夫(昭38卒)
- 雲南市木次町里方八四・四二 (0854421196)
- ◎斐伊支部 幹事長 福岡 正徳(昭42卒)
- 雲南市木次町山方四七 (0854421358)
- ◎日登支部 幹事長 陶山 浩二(昭55卒)
- 雲南市木次町寺領九二七・一 (0854423337)
- ◎西日登支部 幹事長 金山 信夫(昭32卒)
- 雲南市木次町上熊谷八〇三・五 (0854421397)
- ◎温泉支部 幹事長 川本 巧(昭47卒)
- 雲南市木次町平田六九九・二 (0854480028)
- ◎仁多支部 幹事長 中林 安雄(昭17卒)
- 仁多郡奥出雲町三成本町 (0854541171)

- ◎三刀屋支部 幹事長 谷茶 賢(昭28卒)
- 雲南市三刀屋町三刀屋九一・一 (0854452760)
- ◎一宮支部 幹事長 須山 哲好(昭45卒)
- 雲南市三刀屋町給下九〇五・一 (0854453059)
- ◎鍋山支部 幹事長 鶴亀 正義(昭42卒)
- 雲南市三刀屋町殿河内六九五・一 (0854452412)
- ◎飯石支部 幹事長 高尾 正治(昭41卒)
- 雲南市三刀屋町多和一二五四・四 (0854454074)
- ◎中野支部 幹事長 名原 哲男(昭49卒)
- 雲南市三刀屋町中野四一〇・一 (0854454797)
- ◎掛合支部 幹事長 竹下 幸治(昭41卒)
- 雲南市掛合町掛合四七四・二 (0854620082)
- ◎吉田支部 幹事長 大島 文雄(昭48卒)
- 雲南市吉田町深野二二二 (0854750066)
- ◎頓原支部 支部長 鳥屋ケ原 孝(昭27卒)
- 飯石郡飯南町頓原二七五・一 (0854720644)
- ◎頓原分校支部 幹事長 那須 繁弘(昭35卒)
- 飯石郡飯南町長谷一〇五五・二 (0854720602)

## 事務局だより

今年はずっと暖冬で、雪の少ない暖冬でした。生活する上では大変に楽だったのですが、この現象はよいことばかりではなさそうです。さて、普通科から総合学科に変わって三年たちました。今年はいよいよ総合学科第一期生が卒業式を迎えます。先日の山陰中央新報に三年生の一人の次のような文が載りました。

『「略」授業内容を自分の目標とする進路に合わせて選択でき、加えて職場体験や研修旅行、レポート作成など、自分の将来を見据えた学習をすることができた。それにより自分の進路を早く決定でき、早い時期から集中して効率のよい進路に向けた勉強をすることができてよかった。』

自分が三刀屋高校を選択したことは間違いではなかったというこの後輩の言葉はうれしく、又とても頼もしく感じられました。一期生の皆さんのこれからの活躍に期待します。

## この一年間の同窓会の行事

- 平成18年
- 3月1日 雲南会入会式 (第58期卒業生)
- 6月18日 松江支部総会
- 6月24日 東京支部総会
- 7月1日 大阪支部総会
- 7月22日 日登支部総会
- 8月4日 雲南会会計監査
- 8月20日 役員会
- 9月4日 木次支部総会
- 9月23日 平成18年度雲南会総会
- (チェリヴァホール高校27期担当)
- 10月28日 西日登支部総会
- 平成19年
- 3月1日 雲南会入会式 (総合学科第一期生)

最近、三刀屋高校の教職員と名乗って卒業生の住所等を聞き出そうとしたり、新名簿を作成するからと購入勧誘の文書が送り付けられたりしています。雲南会からのお知らせは必ず三刀屋高校発着の郵便でお知らせいたします。電話でお尋ねすることは絶対にありますのでご注意ください。

## 平成17年度島根県立三刀屋高等学校雲南会 会計決算書

(平成17年4月～平成18年3月31日)

## 【収入の部】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較増△減	摘要
入会金	3,240,000	3,272,000	32,000	のべ6,550人×500円
特別会費	450,000	450,000	0	高17期、高27期、高37期
雑収入	100	14	△86	利息
合計	3,690,100	3,722,014	31,914	

## 【支出の部】

項目	予算額			決算額	予算残額	摘要
	当初	流用・充当	現額			
総会費	450,000		450,000	450,000	0	高26期主催
支部総会費	300,000		300,000	150,000	150,000	大阪、東京、日登、三刀屋、木次ほか
活動費	230,000	55,646	285,646	285,646	0	同窓会会報発送費等
印刷費	380,000		380,000	281,613	98,387	同窓会会報印刷
役員会費	200,000		200,000	59,875	140,125	役員会等会議費
同窓会名簿作成費	800,000		800,000	800,000	0	名簿会計へ
異動職員餞別金等	30,000		30,000	0	30,000	餞別
慶弔見舞金	40,000	17,638	57,638	57,638	0	香典、弔電
体育後援会寄付金	300,000		300,000	300,000	0	体育後援会補助
通信費	20,000		20,000	3,020	16,980	切手、はがき代、その他送料
旅費	720,000		720,000	385,224	334,776	支部総会出席等
事務費	80,000		80,000	32,062	47,938	事務用品
雑費	120,000	△55,646	64,354	43,449	20,905	新聞広告費等
予備費	20,100	△17,638	2,462	0	2,462	
合計	3,690,100	0	3,690,100	2,848,527	841,573	

差引残高：3,722,014円－2,848,527円＝873,487円・・・特別会計へ

上記監査の結果内容の正確なる事を認めます

平成18年8月4日 監事 藤原克美 ㊟

監事 錦織達郎 ㊟

## 平成18年度島根県立三刀屋高等学校雲南会 会計予算書(案)

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

## 【収入の部】

(単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	比較増△減	摘要
入会金	3,330,000	3,240,000	90,000	565人×500円×12ヶ月
特別会費	450,000	450,000	0	高18期、高28期、高38期
雑収入	100	100	0	利息
合計	3,780,100	3,690,100	90,000	

## 【支出の部】

項目	予算額	前年度予算額	比較増△減	摘要
総会費	450,000	450,000	0	高27期主催
支部総会費	300,000	300,000	0	大阪、東京、松江、木次、三刀屋ほか
活動費	300,000	230,000	70,000	同窓会会報発送費等
印刷費	380,000	380,000	0	同窓会会報印刷費、その他印刷
役員会費	210,000	200,000	10,000	各種役員会等
同窓会名簿作成費	800,000	800,000	0	名簿会計へ
異動職員餞別金等	30,000	30,000	0	餞別等
慶弔見舞金	40,000	40,000	0	香典、弔電
体育後援会寄付金	300,000	300,000	0	体育後援会補助
通信費	30,000	20,000	10,000	郵券代ほか
旅費	720,000	720,000	0	総会、支部総会、会議等出席
事務費	80,000	80,000	0	事務費用品
雑費	120,000	120,000	0	新聞広告等
予備費	20,100	20,100	0	
合計	3,780,100	3,690,100	90,000	